

名称 浜松市立中郡中学校夢をはぐくむ学校づくり推進協議会

成果と課題				変更点等			
記号	イ	事業内容	学習の充実	記号	ア	事業内容	心の教育の推進
			明治大学の諸富祥彦先生を校内研修に招き、いじめや不登校に関わる研修を行った。発達支援教育の資料を購入し研修に活用した。また、発達支援学級の生徒が野菜作りをする際のサポートを、地元のボランティアに依頼した。				6月の「いのちの月間」に、小説家のいぬじゅん氏を招き、全校生徒が「今を生きる君へ」と題する講演に耳を傾けた。生徒は、命を大切に、身近な人と力を合わせて目標に向けて努力することの大切さに気付くことができた。
			合唱コンクールの審査員として音楽の専門家を2名招き、生徒が努力して作り上げた合唱を適切に審査していただいた。文化発表会前日に会場を借用してリハーサルを行ったため、実行委員や発表者が当日落ち着いて取り組めた。				
			2年生が職場体験学習を行うのに先立って、浜松いわた信用金庫から講師を招き、社会に出て人と接して働くときに必要な所作やマナーを学び、職場体験学習に対する心構えをもたせることができた。				
			1年生が福祉体験活動を行うにあたって、天竜厚生会および日本財団パラスポーツサポートセンターから講師を招いた。車いすとアイマスクの体験、パラリンピック出場選手からの講話などを通して、共生の心を育むことができた。				
			花の苗、培養土、肥料などを購入し、校内の花壇に美しい花を育てて校内を明るい雰囲気にするとともに、生徒や来客の目を楽しませた。また、野菜を育てて収穫し、調理して食する活動を行うことができた。				
			年間10回地域からヨガ講師を招き、朝の10分間に全校生徒でヨガを行い、リラックスした気持ちで1日をスタートする取組を行った。生徒は毎回講師の指示に従ってまじめに取り組み、ヨガの効果を実感していた。				
			年間9回地域から読み聞かせボランティア7名を招き、朝の10分間に1年生と発達支援学級の生徒を中心に本の読み聞かせを行った。生徒は読み聞かせを楽しみにしていて、毎回しっかりと耳を傾けた。				
			駅伝部、および、県大会・東海大会に出場した部活生徒の参加料、必要物品代、貸切バス代などを支払い、支援した。また、県大会以上に出場した部活動の結果を横断幕に記し掲示することで、活躍を称揚した。				
			静岡ブルーレヴズ社長の山谷氏を招いて講演会を開き、発想を転換して能動的に動く秘訣や、モチベーションの高め方などを学んだ。3年生は高校の先生を招いて高校生活に関わる説明を聞き、進路選択に役立てた。				
			10月4日、サーラ音楽ホールで文化発表会を行った。その際、生徒が本校と会場を往復するために、貸切バス14台を利用させていただいた。その甲斐あって、安全かつスムーズに移動し、感動的な文化発表会にすることができた。				